# 先物協会ニュース

JCFIAマンスリー

JCFIA
JAPAN COMMODITY FUTURES INDUSTRY ASSOCIATION

発行　日本商品先物振興協会
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町9-9
TEL(03)3664-5731　FAX(03)3664-5733
http://www.jcfia.gr.jp/


私の好きな一文字

（望月　優子　カネツ商事秘書課長）

先物協会　第7回通常総会

## かつてない難局に新体制で挑む

### 市場の流動性確保を優先

先物協会は6月15日、東京穀物商品取引所の2階大会議室で、第7回通常総会を開き、会員80社のうち、書面による議決権行使、代理人、委任状含め75社が出席した。この総会をもって5年間協会会長を務めてきた二家勝明会長が後進に道を譲り、加藤雅一新会長（岡藤商事会長）を筆頭とする新体制で、かつてない難局に挑むことになった。

**新制度への対応、円滑に**

総会は以下のような二家会長挨拶で開会した。

先物協会は、この3月で丸7年経過し、8年目を迎えています。平成17年度は、改正商品取引所法が施行され、商品先物業界にとりましては、その対応に追われた1年でした。

昨年度の取引所出来高をみますと、オプションを含め1億780万枚と前年度比20％マイナスになり、2期連続で前年度を下回る結果となりました。新年度に入ってからは、4月が前年同月比7・5％プラス、5月は5・3％プラスですが、昨年度の月平均出来高と比較すると4、5月の2カ月間で5％のマイナスと厳しい状況が続いています。まだまだ閉塞感から脱却していません。

昨年度の先物協会の事業は、まず新制度への対応として、「証拠金制度」、「分離保管調書」、「法定帳簿」等様々な制度変更に関する説明会や相談会を開催し、円滑な移行に取り組んできました。また、改正法施行に伴う行為規制の強化や純資産額規制比率の導入等により出来高・取組高の減少傾向が続いたことから、市場流動性確保への取組を行い、昨年秋から制度政策委員会の下に市場振興戦略会議を作り、4つの部会で議論を重ねてまいりましたことをご報告いたします。

**副会長に犬嶋隆氏**
**制度政策委員長は多々良實夫氏**

この後、平成17年度事業報告及び収支決算について、秋田治常務理事が詳細に説明、釼持宏昭監事（北辰物産社長）が監査報告を行い、承認された。続いて、役員の改選に移った。3月16日の臨時総会で、「選考委員が指名した役員候補者を総会で承認する方法」で行うことを決めており、宮本勇選考委員長（アサヒトラスト会長）から次のような経過報告があった。

選考委員会での基本的な考え方は、改正法施行後、市場の流動性確保に係る取組を行ってきた現体制を継続することとし、辞任された方及び社長退任予定の方などについて補充するとともに、3月の総会で役員の定数が削減された関係から団体間のバランスを配慮しました。

会員代表者以外から選任する役員については、秋田治氏を理事候補、成蹊大学経済学部の成道秀雄教授を監事候補として二家会長が選定、承認された。引き続いて別室で役付理事の互選が行われ、会長に加藤雅一・岡藤商事会長、副会長に犬嶋隆・ひまわりCX会長、常務理事に秋田治氏が決定した（役員名簿は別表の通り）。

また、常設委員会の委員長については、正式には次回の理事会で決めるが、現体制継続という考え方から総務委員会は島津嘉弘委員長、広報委員会は犬嶋隆委員長の留任を決め、制度政策委員会は多々良實夫副委員長の委員長就任を了承した。

通常総会風景

**誠心誠意、全力挙げて**

加藤雅一・新会長は、「本日、ここまで大変難しい時期にこれまで協会運営を引っ張っていただいた二家会長に深く感謝いたします。特にこの1年間は激動・激流の中で苦労される様子を副会長としてまざまざとみて、協会運営とは非常に難しいことだということが分かっています」。

「二家会長は誠実さと行動力のある方で、何事にも誠心誠意取り組んでこられました。私もこの方針にのっとり、誠心誠意、全力を挙げて努めます」と挨拶した。

新会長として挨拶

**日本商品先物振興協会　役員名簿**（平成18年6月15日）

| | | |
|---|---|---|
| 会長 | 加藤　雅一 | 岡藤商事㈱　会長 |
| 副会長 | 犬嶋　隆 | ひまわりCX㈱　会長 |
| 常務理事 | 秋田　治 | |
| 理事 | 石川　清助 | 洸陽フューチャーズ㈱　会長 |
| 〃 | 岡地　和道 | 岡地㈱　社長 |
| 〃 | 岡本　安明 | 岡安商事㈱　社長 |
| 〃 | 上村　勤 | ㈱アルフィックス　社長［新任］ |
| 〃 | 川崎　芳徳 | スターアセット証券㈱　社長［新任］ |
| 〃 | 川路　耕一 | 三貴商事㈱　会長 |
| 〃 | 島津　嘉弘 | 新日本商品㈱　会長 |
| 〃 | 清水　清 | カネツ商事㈱　会長 |
| 〃 | 高松　公 | 三井物産フューチャーズ㈱　社長 |
| 〃 | 多々良實夫 | 豊商事㈱　社長［新任］ |
| 〃 | 二家　勝明 | 日本ユニコム㈱　会長 |
| 〃 | 森　辰郎 | エース交易㈱　社長 |

以上15名

| | | |
|---|---|---|
| 監事 | 太田　幸作 | 日進貿易㈱　社長　※ |
| 〃 | 釼持　宏昭 | 北辰物産㈱　社長 |
| 〃 | 成道　秀雄 | 成蹊大学経済学部　教授［新任］ |

※印＝理事より異動　以上3名

## FUTURES PLAZA

### 取引の自由と自尊のこころ

日本商品清算機構
業務部監査担当主任　鈴木　浩介

平成17年5月1日に改正商品取引所法が施行され、同時に㈱日本商品清算機構（JCCH）が清算業務を始動してから、はや1年が経過した。改正商取法の要諦の一つは、委託者保護に係る法令遵守である。また、法令遵守を重要な内容の一つとしている会社法も今年の5月に施行された。この原稿を書いている時も、証券業界では、またもや、「取引の自由」を叫んだ者の法令違反がメディアを賑わしている。この事件は、会社法施行直後というタイミングと相俟って、その内容から、企業にとって、法令遵守が美徳から義務になったこと、そして、法を犯すことと自由とを履き違えない、強固な公徳心を持つことが、ビジネスマンに求められるようになったことを記憶させるに足る事件だと考える。

一方、個々の企業と従業員の倫理が問われる現在の環境になる以前から、斯界において、法令遵守を継続努力されてきた清算参加者の皆様には頭が下がる思いである。とはいえ、この1年、法令違反が元で、自主廃業や違約に追い込まれた企業が複数現れたのも事実であり、遺憾である。我が国の全ての業界が同じ問題に直面しているといえる。

法令違反は、新たな規制や余計な事務を生み、我々の仕事を窮屈にする。特に、ビジネスの仕組みが他の業種比高度、且つ大きな金額が動く斯界においては、法令違反が企業や個人に与えるダメージは甚大且つ根深い問題になるのは自明であり、不祥事が起きれば規制が増え、取引の自由を自ら縛ることになる。故に、業界に属するひとりとして、法令以上の規範を自らに課し己を厳しく律する必要があると考える。商品先物取引の自由、あるいは独立を確保するには自尊心を持って行動することが必要だ、と常に自省する毎日である。先ずは、家族に恥じるところのないフェアーな仕事を心がけたいと思う。

【プロフィール】
1972年東京生まれ、バンコク育ち。1996年慶大（政）卒、第一勧銀入行。2003年早大院（GSAPS）修了、東工取入所。2005年4月よりJCCH出向中。業務部監査担当。

## 守るべきことを訴求

先物協会　新聞・雑誌広告

先物協会は6月から全国紙及びマネー雑誌で商品先物取引の啓蒙広告を展開中。今年度のテーマはルール。商品先物会社が守るべきこととして、説明義務、適合性原則を説明、お客様に守っていただくことは、余裕資金の範囲内、自己責任、取引結果の確認の3点。

## 先物春秋

夏目漱石が小説「道草」を朝日新聞に連載するのは大正4年のことで、第1次世界大戦で株も商品相場も大荒れとなり、あっちこっちで成金が輩出した。相場師たちが一番躍動し、羽振りを利かせた時代でもある。だからというわけでもないだろうが、主人公夫婦の会話に相場師談義が登場する。健三の細君お住の父が相場に手を出して失敗したことがある▼お住「お役人をしている間は相場師のほうで儲けさせてくれるんですって。いったん役を退くと、もう相場師がかまってくれないから、みんなだめになるそうです」。健三「何のことだか要領を得ないね」。お住「あなたにわからなくったって、そうなら仕方ないじゃありませんか」。健三「何をいっているんだ。それじゃ相場師は決して損をしっこないものにきまっちゃうじゃないか。ばかな女だな」▼お住は相場師が万能の神のような存在だと思い込んでいる。それが健三にはおかしかった。「道草」は漱石が書いた唯一の自伝的小説だという。とすると、相場で撃たれたのは、妻鏡子の父で貴族院書記官長を務めた中根金一ということになる。中根が現役時代は兜町の相場師（仲買人）たちも大事にして損失補てんだってしてくれたかもしれない。それが現役を離れると途端に変わる。お住の言うのもまんざら外れでもなさそうだ▼金融商品取引法では損失補てんの禁止が明記された。商品先物取引でも同様の措置が講じられるだろう。損失補てんは聖なる市場に似合わないし、第一、市場の正義にもとる行為である。（泉）